

[野菜部門]

13. ミナミキイロアザミウマの天敵「タバコカスミカメ」への影響が小さい農薬の選定

[要約]

現地で使用されている農薬7剤は、タバコカスミカメの成幼虫に対して大きい影響は認められないが、中程度の影響は示す。

[担当] 岡山県農林水産総合センター農業研究所 病虫研究室

[連絡先] 電話086-955-0543

[分類] 情報

[背景・ねらい]

岡山県の促成ナス栽培では、難防除害虫のミナミキイロアザミウマの防除対策として、土着天敵のタバコカスミカメを利用している。そこで、昨年度評価した36剤に加えて現地で使用されている農薬を含めた7剤について、タバコカスミカメへの影響を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

1. アプロードエースフロアブル、ダニトロンフロアブル、マイトコーネフロアブル及びピクシオDFは、タバコカスミカメ成虫に中程度の影響が認められ、幼虫には影響がない（表1）。
2. 展着剤のスカッシュ及びまくびかについて、濃度を変えて検討したところ、スカッシュ3,000倍はタバコカスミカメの成虫及び幼虫に影響せず、スカッシュ2,000倍、まくびか5,000倍、10,000倍は成虫又は幼虫に中程度の影響が認められる（表1）。
3. ダコニール1000の1,000倍とスカッシュ2,000倍の混用は、タバコカスミカメ成虫及び幼虫への影響が中程度である（表1）。

[成果の活用面・留意点]

1. 平成25年度試験研究主要成果と併せて活用する。
2. タバコカスミカメを放飼した後、約1か月間は、影響が中程度の農薬の使用を控える。

[具体的データ]

表1 タバコカスミカメの成虫及び幼虫に対する各種農薬の影響

農薬名	希釈倍率	影響評価 ^z	
		成虫	幼虫
殺虫剤			
アプロードエース (フ)	1,000	△	○
ダニトロン (フ)	1,000	△	○
マイトコーネ (フ)	1,000	△	○
殺菌剤			
ピクシオDF	2,000	△	○
展着剤			
スカッシュ	2,000	△	△
スカッシュ	3,000	○	○
まくぴか	5,000	△	△
まくぴか	10,000	○	△
殺菌剤+展着剤			
ダコニール1000 (フ) +	1,000	△	△
スカッシュ	2,000		

^z 虫体浸漬法で検定し、死亡率が30%未満のものを影響がない(○)、30%以上80%未満のものを影響が中程度(△)、80%以上のものを影響が大きい(×)と区分

[その他]

研究課題名：促成栽培ナスのミナミキイロアザミウマに対する新たな天敵を組み合わせた総合防除体系の確立

予算区分：交付金（病虫害防除農業環境リスク低減技術確立）

研究期間：2013～2015年度

研究担当者：西優輔、畔柳泰典

関連情報等：[平成25年度試験研究主要成果、65-66](#)